

教育・文化

発達障がい教育の充実に向けて 取り組みを進めよう

津本裕子議員(公明) ①小・中学校における特別支援教育の課題をどう捉えているか。

②課題解決への取り組みは。

教育長 ①一部の通級指導学級の児童・生徒数が著しくふえていることや、通常の学級でより効果的な支援を行っていくことが課題となっている。

②平成26年度から小学校1校、中学校1校に新たに通級指導学級を開設する。また、新規事業として特別支援教育支援員を配置し、児童・生徒に寄り添った支援を進めていく予定である。

給食費の未納について

村松まさみ議員(虹ひ) ①小学校と中学校の給食費未納の学校数と人数は。

②未納理由はどのようなものと考えているか。

教育長 ①平成24年度は、小学校11校47人、中学校8校67人の給食費が未納になっている。

②給食費は食材の購入のみに充てられるもので、未納が発生した場合は給食全体に影響を及ぼすなどの、給食費の仕組みが十分に理解されていないことが主な要因と考えている。

コミュニティ・スクール、学校 支援地域本部事業等について

坂井やすのり議員(みな) ①コミュニティ・スクールの今後の進展は。

②放課後子ども教室の運営や予算の執行に問題はないか。

教育長 ①平成25年度から小学校3校と中学校1校が、国の推進事業受託校として、コミュニティ・スクールの指定に向けて研究を行っている。

②放課後子ども教室運営委員会が検査し適正な運営であることと確認している。また、各実行委員会では定期的に会議を開催し、適切な運営に努めている。

市民のための新たな図書館 づくりが必要ではないか

立花隆一議員(公明) ①市立図書館としての課題とその対策は何か。

②今後目指すべき図書館のあり方とは何か。

教育長 ①情報拠点としての機能強化や学校との連携強化が課題であり、対策として情報発信機能の強化、子ども読書活動の推進等を主な施策としている。

②図書館本来の目的や役割に基づき、小平市教育振興基本計画に示された施策を展開し、社会や図書館へのニーズの変化に対応する図書館を目指していく。

寄附される土地を活用し 鈴木遺跡のPRを

小林洋子議員(フオ) ①農林中央金庫研究所北側部分が市に寄附されることになった経緯は。

②この土地で鈴木遺跡の発掘調査を行う予定はあるか。

教育長 ①鈴木遺跡の中でも非常に重要な部分のため市が提供を依頼したところ、農林中央金

庫は創立90周年の記念の意味も含めた社会貢献として寄附を申し出るに至ったと聞いている。

②発掘調査による破壊は行わず、そのまま後世に残していくことが最良であると考えている。

子どもたちがSNSのトラブルに 巻き込まれないために

山岸真知子議員(公明) ①子どもたちに対するインターネットの利用に関する教育を充実させる必要があるのではないかと。保護者に向けた子どものS

地域防災計画の修正と震災時の 子どもの安全性確保について

吉池たかゆき議員(みな) ①計画の修正の基本方針は、より実効性の高い計画への見直しとのことだが、どう変更したか。

②防災会議への女性参画を今後どう充実させていくか。

市長 ①施策ごとに災害の段階に応じた対応策を構築するなど、施策内容の充実、強化を図っている。また、担当ごとの対応マニュアルについても計画の中に位置づけている。

②女性で組織する団体からの委嘱等について検討を進める。

再び、市民の生命・財産を守る 安全・安心の整備と対策を問う

坂井やすのり議員(みな) ①総合防災訓練を見直し、各小学校を単位とした地域防災訓練を実施すべきではないか。

②市民の防災意識を高め、命を守る施策をどう講じていくか。

NSの安全利用の啓発の考えは。教育長 ①インターネットを適切に活用する判断力や心構えを身につけさせるため、各学校で情報モラル教育を意図的、計画的に行うよう指導している。

②引き続き、学校公開やセーフティ教室等を通して安全利用の啓発に取り組んでいく。

防災・防犯

ソシヤル・ネットワーク・サービスの略。代表的なものとしてツイッターやフェイスブック、ラインなどがある。

自治会などとの防犯、 防災体制の整備について

川里春治議員(政和) ①商店街の街路灯のLED化の現状は。

②自主防災組織に対する支援として行っていることは何か。

市長 ①平成25年8月時点では、1千2本あるうちの302本がLED化されている。平成25年度はさらに101本がLED化され、全体の約40%になるものと見込んでいる。

②組織運営や防災資器材の整備に係る費用を補助しているほか、地域で行う防災対策への助言や訓練で使用する資材等の提供など側面的な支援をしている。

市民の生活を守る 消防団を支援するために

幸田昌之議員(公明) ①消防団支援法についての市の見解は。

②消防団の装備等の課題は。

市長 ①消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図ることが市の責務となり、今後、消防団の活動の充実により地域防災力の向上を図っていく必要があると認識している。

②無線機等の安全装備は、必要に応じて配備を進めている。今後は、装備の基準等の改正に伴い標準的な装備とされた救助用資器材について、補助金等を活用しながら配備に努めていく。

大雪への対応と 積雪の処理について

滝口幸一議員(フオ) ①2月8日及び14日から15日にかけて大雪となったが、公共施設はどのような対応をしたか。

②雪かきをした後の雪の処理が課題だが、市の考えは。

市長 ①庁舎では職員の応援態勢や融雪剤の備蓄状況等を確認し、除雪の準備を整え、その他

の公共施設も必要な準備を整えながら通常どおり業務を行った。

②除雪した雪を全て回収し、置く場所を確保するのは困難なため、特に交通に支障が生じる場所に限り回収する考えである。

45年ぶりとなった 大雪への対応について

小林洋子議員(フオ) ①大雪による市内の被害状況は。

②都知事選挙の前日及び当日の対応はどうだったか。

市長 ①公共施設では健康センターや市民総合体育館に被害があった。また、市内では倒木等の連絡があり、農業用施設にも被害が出ていると聞いている。

選挙管理委員会事務局長 ②各投票所へスコップや融雪剤等を配布し、前日及び当日早朝に除雪等を行って投票開始時刻までに投票所敷地内の通路を確保した。

市の大雪対策について

市の大雪対策について

市の大雪対策について

市の大雪対策について

市の大雪対策について

市の大雪対策について

一般質問のまとめ

平成23年6月定例会～平成26年3月定例会

◆質問者数・件数

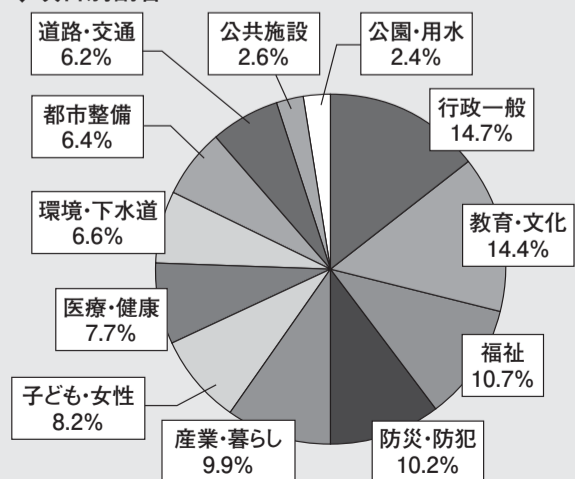
定例会名	質問者数	質問件数
23年6月	25	69
23年9月	24	70
23年12月	25	66
24年3月	26	72
24年6月	26	63
24年9月	25	64
24年12月	25	65
25年3月	26	65
25年6月	25	65
25年9月	24	55
25年12月	24	62
26年3月	24	61
合計	299	777
平均	24.9人	64.8件

※平均は小数点第2位四捨五入

◆項目別件数

項目	件数
行政一般	114
教育・文化	112
福祉	83
防災・防犯	79
産業・暮らし	77
子ども・女性	64
医療・健康	60
環境・下水道	51
都市整備	50
道路・交通	48
公共施設	20
公園・用水	19
合計	777件

◆項目別割合



※構成比は四捨五入して表示

掲載分以外の 質問項目

〔行政一般〕
○近隣市との連携推進でサービス向上を図る検討は進んだか